

		情報発信	コミュニティ形成・連結	プロジェクト創出	プロジェクトのショーケース
アウトプット(事業量)	目標・事業計画	<p>情報発信の実績については平成26年10月22日時点の数字</p> <p>情報発信 100件 [100]</p>	<p>① イノベーション人材のコミュニティ形成 88回 [88] 学生、VC、起業家、支援機関、企業対象としたイノベーション人材のコミュニティ形成のためのセミナー等</p> <p>② 海外ワークショップ（学生、起業家） 2回 [2]</p> <p>イベント参加者数 3,800人以上 [3,800]</p>	<p>① ニーズ顕在化プログラム 20回 [20]</p> <p>② ハッカソン（ものアプリ、ソフト系） 6回 [6]</p> <p>③ 公開型イベント(オープンイノベーションマッチング、投資家・起業家マッチング) 6回 [6]</p> <p>④ 非公開型イベント(事業開発研究会) 12回 [12]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際イノベーション会議開催 参加者：400人以上 [200] プロジェクトのプロモーション機会創出 <p>国際会議 1回 [1]</p>
	実績 4～9月	<ul style="list-style-type: none"> イベント告知 日本語 95本、英語 29本 イベントレポート 日本語 2本 起業家紹介等 日本語 19本 FB投稿 日本語 204本、英語 20本 メルマガ 14本、DM 40本 プレスリリース 4件 計 427 [736] 	<p>① イノベーション人材のコミュニティ形成 63回 [141]</p> <p>② 平成27年2月末～3月初旬開催予定 [35人]</p> <p>イベント参加者数 3,912人 [8,286] (別途、拠点来場者数 1,904人 [3,329])</p>	<p>① 5回(LLP) [21]</p> <p>② 11回(今後、ものアプリハッカソン等) [8]</p> <p>③ 0回(今後、サンスターのイノベーションエクステンション等)[6]</p> <p>④ 2回 [12]</p>	
アウトカム(成果)	目標・達成水準	<p>国内外のメディアに取り上げられる</p> <p>定量的指標（開設からの累計）</p> <p>① HPのユーザー数 100,000 [100,000]</p> <p>② FBの「いいね」数 3,000 [2,000]</p> <p>③ メルマガ登録者数 5,000 [3,000]</p> <p>定性的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> メディア掲載数及びメディアによる評価 	<p>起業・イノベーション創出を担う人材を輩出する多様なコミュニティの活動が活性化している</p> <p>定量的指標</p> <p>① メンバーシップ(OsakaHackersClub)登録者数 400 [200]</p> <p>② Osaka Hackers Club 会員(プレイヤー・パートナー)が持つ情報発信対象者数 6,000 [3,000]</p> <p>定性的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティの形成が促進されている 多様なコミュニティが参画している グローバルネットワークが形成されている 	<p>イノベーション創出に資するプロジェクトが具体化している</p> <p>定量的指標</p> <p>① 事業化プロジェクト創出支援件数 30件 [20]</p> <p>(事業化定義)</p> <ul style="list-style-type: none"> 守秘義務、共同研究等契約関係、ソフトウェア等における試作版の公開、資金調達に向けた具体的アクション スーパープロデューサーが認定したもの 	<p>国内外から注目度が高いプロジェクト発表の場として、国際イノベーション会議が評価される</p> <p>定量的指標</p> <p>① 海外関係からの参加者数 100人程度 [100]</p> <p>② メディアでの掲載数 前回カンファレンスにおける実績(10件)以上</p> <p>定性的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアによる評価内容 YouTube、Facebookの情報発信効果
	目標設定の考え方	平成25年度の実績を勘案して設定している	平成25年度の実績を勘案して設定している	25年～27年度の3ケ年で、プロジェクト創出支援100件を目標としており、1年目は20件、2年目は30件としている	時機にあったテーマ設定や効果的な情報発信を行うことで、少なくとも昨年度並みの成果を設定している
	実績 4～9月	<p>定量的指標（開設からの累計）</p> <p>① 94,633 [67,527]</p> <p>② 2,952 [2,125]</p> <p>③ 6,248 [3,977]</p> <p>定性的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> WEBメディア掲載 15回 [18] 新聞掲載 11回 [22] テレビ放映 3回 [2] 	<p>定量的指標</p> <p>① 380人(プレイヤー278人、パートナー102人) [268]</p> <p>② 7,534人 [6,487]</p> <p>定性的指標</p> <p>関係先とネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> Osaka Hackers Club 会員制度を構築しながら、企業、支援機関、大学、VC等イノベーション創出に関わるネットワークの層ができてきている ☆ 香港貿易発展局、香港サイエンステクノロジーパーク、仏大使館のネットワークによるセミナー、マッチング会等グローバルアクセスポイントの形成に努めている 	<p>定量的指標</p> <p>ビジネスプランコンテストや、プログラムでの成果発表等を通じて形成されたチームの状況の把握に努めている。</p> <p>① (年度末に集計) [22件]</p>	<p>定量的指標</p> <p>① [69人]</p> <p>② [9件]</p> <p>定性的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ustream 視聴者数 2,106件 ・Facebook ページ 投稿 76件、いいね 369人 他
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 大阪イノベーションハブにブランディングを統一化し、ホームページを訴求力を高めるべくフラットデザインにリニューアル。イベントシステムを変更し、ユーザーのニーズに合った効果的なプロモーションを実施。 拠点の取組みやハッカソン等のイベントが、新聞やWebメディアに多数掲載され、HPのユーザー数やメルマガ登録者数も着実に増加。メンバーシップの紹介の充実を図るなど、Webサイト自体の付加価値を高めるとともに、YouTubeの活用についても検討する必要がある。 ☆ 外国人のメルマガ会員は100名前後。配信先の拡大と、さらなる配信コンテンツの充実(特にグローバルプログラムの集客強化)が課題である。また、海外への情報発信をより効果的にするため、海外向けサイトは国際会議のテーマ、ターゲットと合わせた設計にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪ハッカーズクラブのカテゴリーを、4分類から2分類(プレイヤー、パートナー)に変更し、新事業創出に取り組む個人とそれに関わる企業、組織という整理を行った。 昨年来取り入れている本事業と親和性のあるイベント(共催イベント)の誘致が成功しており、拠点の認知度アップにつながっている。 結果として、場所貸し的な運営とならないよう、事業への貢献度を見極める必要がある。 有望なプロジェクト、成功ケースになりうるプレイヤーをあらゆる機会を通じて発信・支援し、拠点の求心力を高めるとともに、プレイヤーどうしの化学反応を促進したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ビジネスプランを持つ人材によるプレゼンピッチやプロジェクト創出のためのチームづくりに資するハッカソンを精力的に実施。イベントの質の向上と、誕生したプロジェクトの支援強化が今後の課題である。特に、ハッカソンで出たアイデアやチームの活動への効果的なサポートについても工夫が必要。 ☆ プロジェクトを、投資家、クラウドファンディング、アクセラレートプログラム、大阪産業創造館の支援メニューなどに効果的につなぐ方策、仕組みを作る必要がある。 ☆ 大企業とスタートアップの効果的な協業促進が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際イノベーション会議は、平成27年2月10日(火)、コングレコンベンションセンターで開催予定。 テーマ: 地域イノベーションの育成と発展 キーノート: Techstars NY(ダン・パートナー氏) パネラー: Spotify 日本代表(ハネス・グレー氏)、500startups 南アジア地区担当者(カイリー・ン氏)、株EngineYard 代表(ティム・ロメオ氏) 他 国際イノベーション会議は調整中 ベンチャー企業のプロモーションの場、VC、メディアとの出会いの場を併設し、ワットワーキングの促進を図る。 	